

# 砂防施設が効果を発揮した事例（鹿児島県垂水市上村）

たるみずしかんむら



平成17年9月5日～6日にかけて襲来した台風14号により、磯脇川において土石流が発生したが、既設砂防堰堤が施設されていたことにより、上流からの土砂を捕捉し、下流保全対象への土砂流出を低減することができた。



# 砂防施設が効果を発揮した事例（鹿児島県垂水市上村） たるみずしかんむら

平成17年9月5日～6日にかけて襲来した台風14号により、平野川支川において多くの山腹崩壊及び土石流等が発生し、これらによる土砂や流木等が多く流下した。

しかし、既設砂防堰堤が施設されていたことにより、上流からの土砂及び流木を捕捉し、下流保全対象への土砂流出を低減することができた。



# 砂防施設が効果を発揮した事例（鹿児島県たるみずししんみどう垂水市新御堂）

平成17年9月5日～6日にかけて襲来した台風14号により、井川において多くの山腹崩壊及び土石流等が発生し、これらによる土砂や流木等が多く流下した。

既設砂防堰堤が施設されていたことにより、上流からの土砂及び流木を捕捉し、下流保全対象への土砂流出を低減することができた。



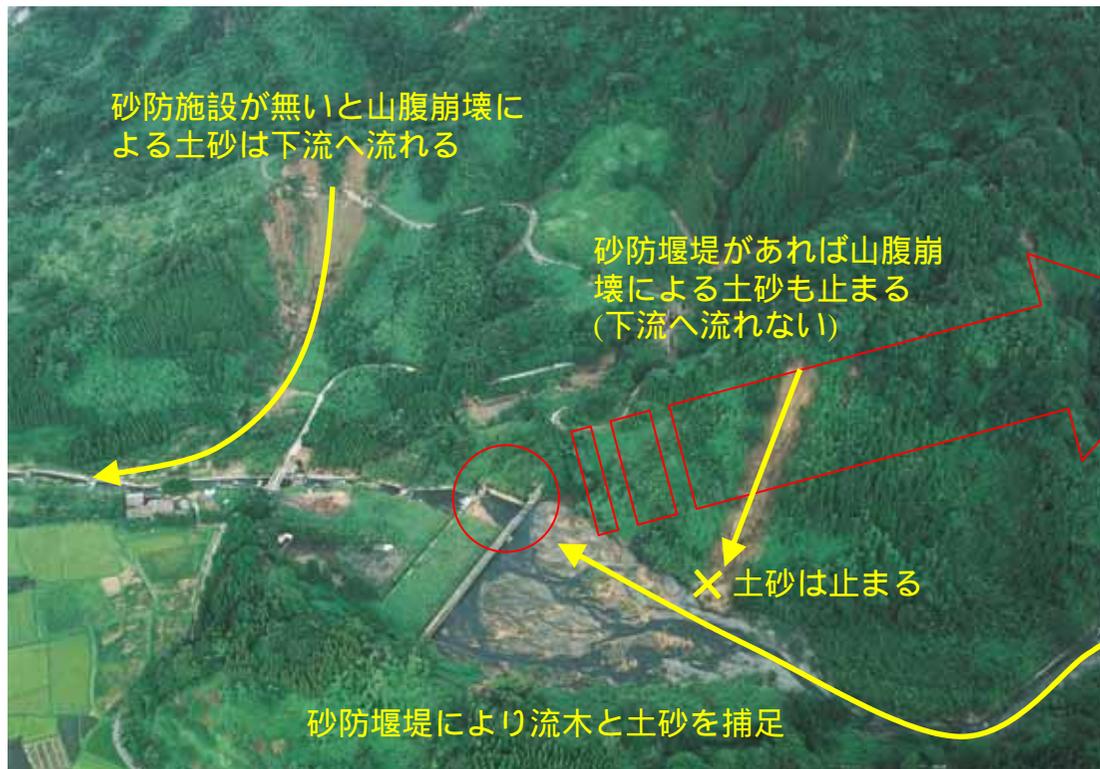
# 砂防施設が効果を発揮した事例 ( 鹿児島県垂水市牛根麓 )

たるみずしうしねふもと



平成17年9月5日～6日にかけて襲来した台風14号により、仏石川において多くの山腹崩壊及び土石流等が発生し、これらによる土砂や流木等が多く流下した。

既設砂防堰堤が施設されていたことにより、上流からの土砂及び流木を捕捉し、下流保全対象への土砂流出を低減することができた。



# 砂防施設が効果を発揮した事例（鹿児島県垂水市牛根麓）

平成5年の台風13号により、仏石川において多くの山腹崩壊及び土石流等が発生し、下流保全対象へ甚大な被害を及ぼした。

平成17年の台風14号においても、同様に多くの山腹崩壊等が発生したが、砂防堰堤が完成していたことにより、被害防止できた。

砂防堰堤を施工中、未完成であった。

平成5年当時、砂防堰堤が未完成のため、下流保全対象が被災。

平成17年の台風14号では、砂防堰堤により土砂等を捕足。下流保全対象への被害を防いだ。平成5年の被災範囲と比べても、大きく減災していることが分かる。

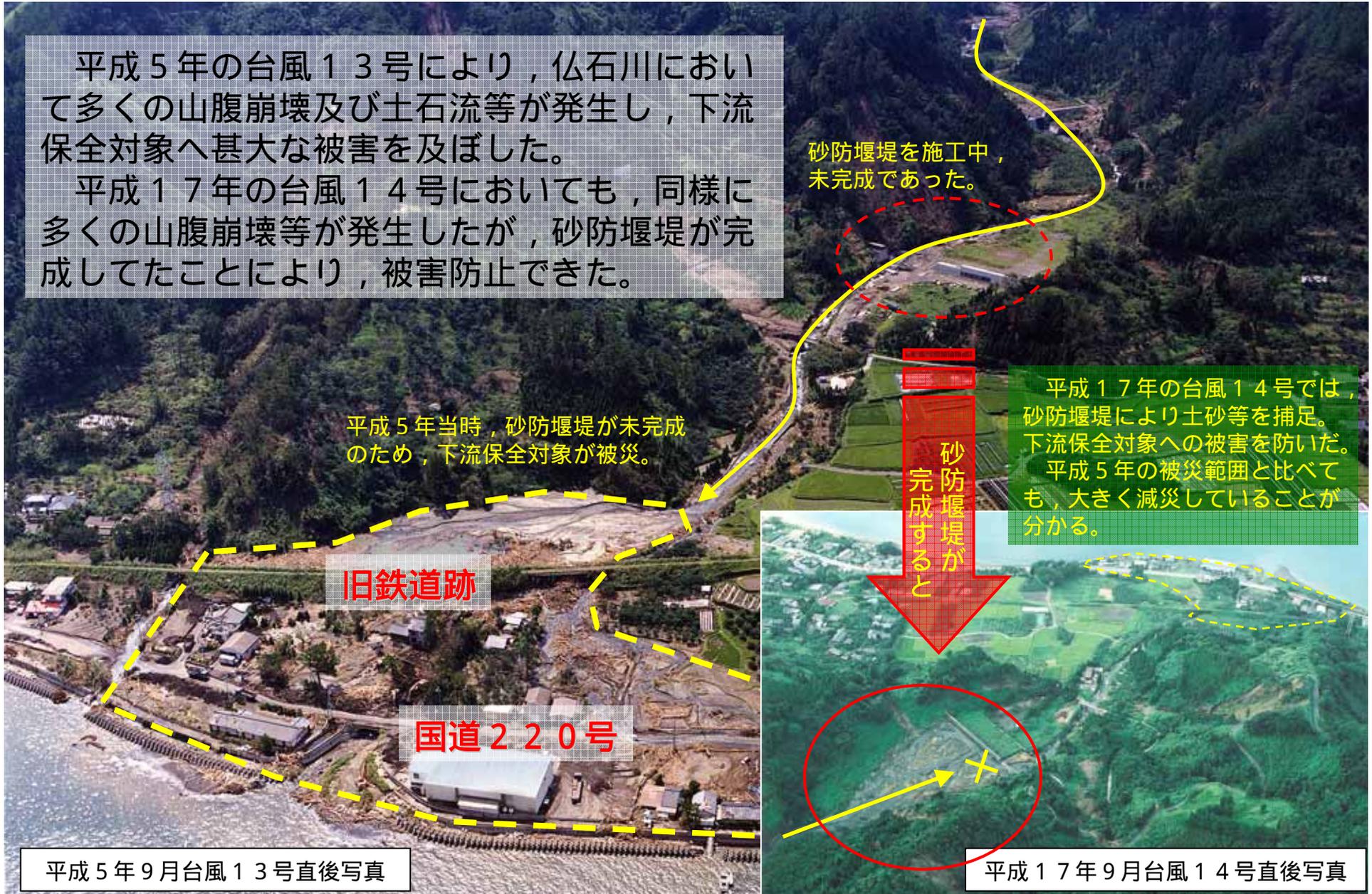
砂防堰堤が完成すると

旧鉄道跡

国道220号

平成5年9月台風13号直後写真

平成17年9月台風14号直後写真



# 砂防施設が効果を発揮した事例（鹿児島県垂水市浦谷）

たるみずしうらたん



平成17年9月5日～6日にかけて襲来した台風14号により、中俣川において多くの山腹崩壊及び土石流等が発生し、これらによる土砂や流木等が多く流下した。

既設砂防堰堤が施設されていたことにより、上流からの土砂及び流木を捕捉し、下流保全対象への土砂流出を低減することができた。

